

企業を支える人材力 ～高齢人材のパワーを発展の柱として～

（主催 京都市、共催 京都府高齢・障害者雇用支援協会）

講演

今回は、人事・人材開発に関するコンサルティング活動の一環で、京都府高齢者雇用アドバイザーとして、市内の各企業の経営者や求職者と向き合ってきた講師が、雇用の現状と今後の方向性、企業力を高めるための人材マネジメントの在り方、とりわけ高齢者パワーを柱とした人材力強化のポイントを、具体例を交えながらお話ししました。

また、平成25年4月に高齢者雇用安定法の改正（希望者全員65歳までの継続雇用を義務付け）を控えて、まさに人材の質が問われる時代を迎える中で、年齢を超えた企業内協働の重要性について考えました。

講師 中川 正志（人事企画事務所ネットワーク代表、採用・人事開発コンサルタント、京都府高齢者雇用アドバイザー）



38年間のトリプル・キャリア（大手百貨店の人事部・人事コンサルタント・大学講師）を通じて、企業経営を支える人事基盤の構築、雇用・人材開発面のコンサルティング活動等に携わっている。また、高齢者雇用アドバイザーとして、企業・法人経営者への相談・助言、大学・公的機関における就職支援を通じた若者から高齢者までの就業意識の高揚、就職力の向上を進める中で、経営資源のうち、とりわけ重要な「人材力の向上」について多様な局面で取り組んでいる。

日時 平成25年1月25日（金）14：30～16：00

会場 京都テルサ セミナー室（東館2階）（南区東九条下殿田町70番地）

対象者 京都市内に事業所を持つ企業等の経営者層、総務・人事責任者、人権研修推進者等

